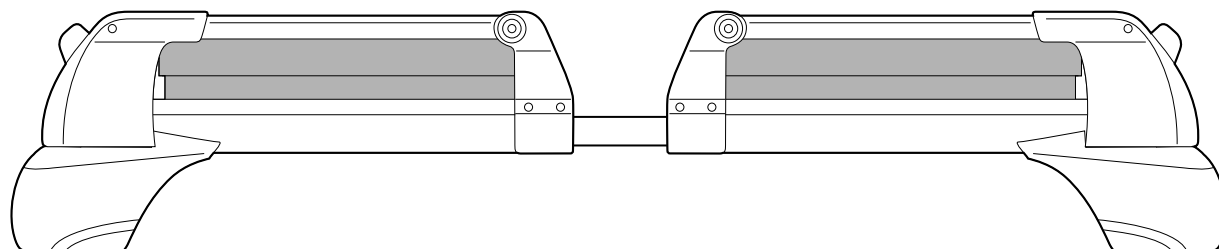
5651-70691B

CARMATE

# INNO STYLE TRANSPORTATION·INNOVATED WINTER CARRIER TX707 取扱説明書

## はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

**この取扱説明書は、お客様に本品を安全に正しくお使いいただくためのものです。本品をお使いになる前には必ず本書をよくお読みください。**
**お読みになった後は、本品をお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管しておいてください。**

本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

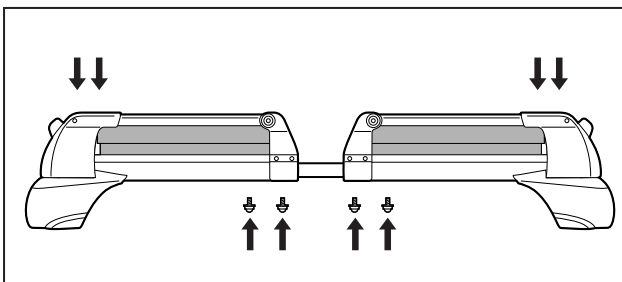
## 目　次

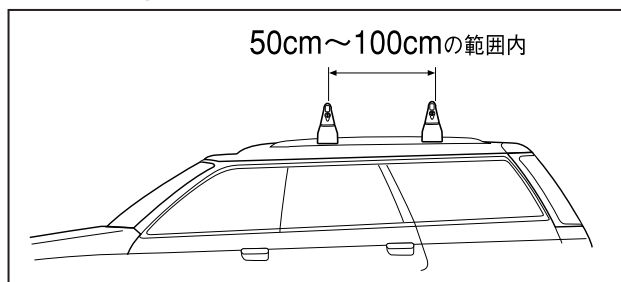
# 安全にお使いいただくために

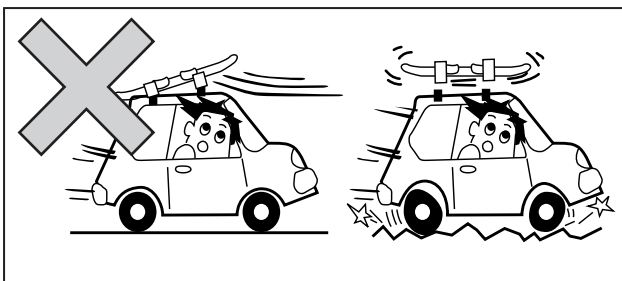
## 必ず守ってください

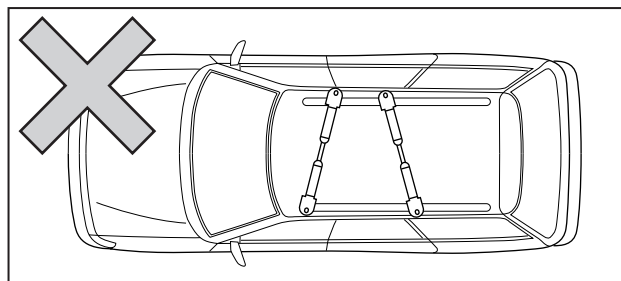
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

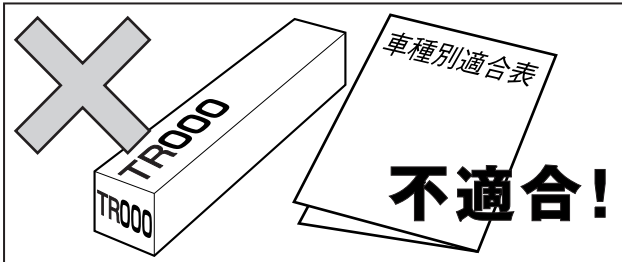
警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

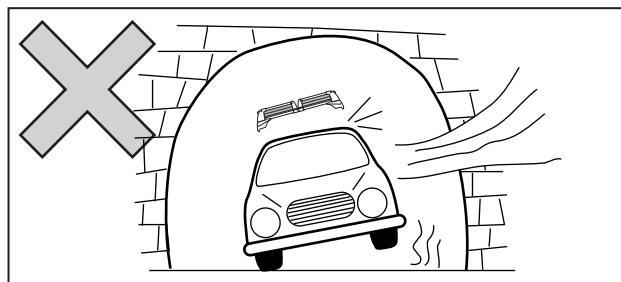
### ボルトのゆるみに注意

走行前に必ず積載物を載せて前後キャリア合せて16ヶ所のビスやボルトにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は、増し締めしてください。

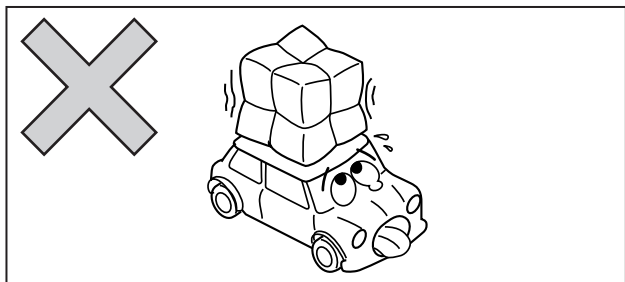
### 前後間隔は50cm～100cm

キャリアの前後間隔は、必ず50cm～100cmの範囲内にしてください。

### 法定速度以下での走行

積載時必ず法定速度以下の速度で走行してください。さらに、強風時や悪路では充分速度をおとして走行してください。

### 取付位置の注意

キャリアは、必ず車両の進行方向に対して直角に取付けてください。

### 適合車種以外の車両への使用禁止

車種別適合表に記載されている、適合以外の車両への取付はしないでください。また、「TR取付フック」（別売）は、必ず車両と適合するものを取付けてください。

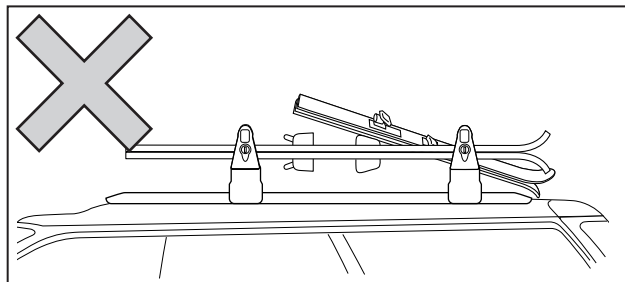
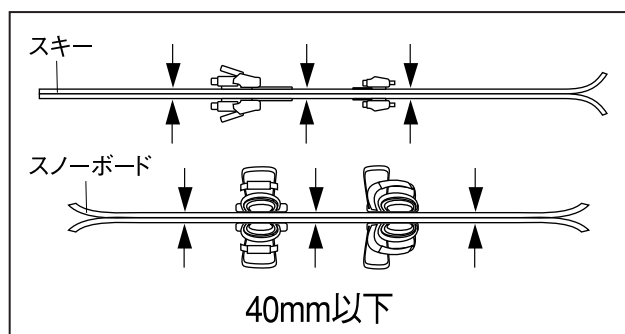
### ユルミ、ガタツキ注意

トンネル出口や橋の上などで、強い横風をうけた場合、安全な場所でキャリアのビスやボルトのユルミによるガタツキ等異常がないか確認してください。

## 最大積載量を超えた積載禁止

最大積載量を超えた積載はしないでください。

〈本製品の最大積載量〉

| | |
|---|---|
| スキーのみ | 6セット※1 |
| スキー＋ストック | 各4セット※1 |
| スノーボードのみ | 2〜4台※2 |
| スノーボード＋スキー | ボード1〜2※2＋スキー3※1 |

※1 カービングスキー等、スキー板の幅により積載台数が少なくなる場合があります。
※2 スノーボードの積載台数は、車種・バインディングの大きさにより異なります。店頭の車種別適合表でご確認ください。
※車種により、ルーフレールの強度が弱いため積載台数に制限がある場合があります。店頭の車種別適合表でご確認ください。

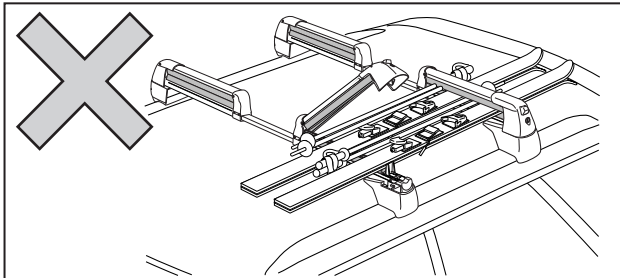
## 適合しないスキー、スノーボード、ストックの積載禁止

必ず確認手順（P18参照）を行い、適合しないスキー、スノーボード、ストック、はキャリアに積載しないでください。

アタッチメントで保持する部分の厚みが、40mmを超えるものは積載しないでください。

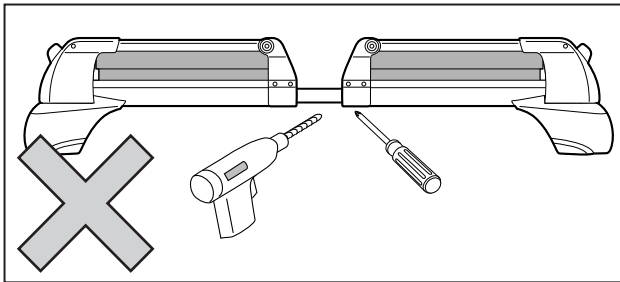
## スキー、スノーボード、ストック以外の積載禁止

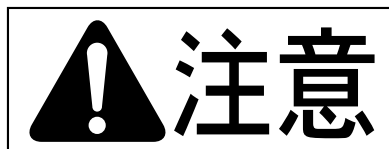
スキー、ストック、スノーボード以外のものを積載しないでください。

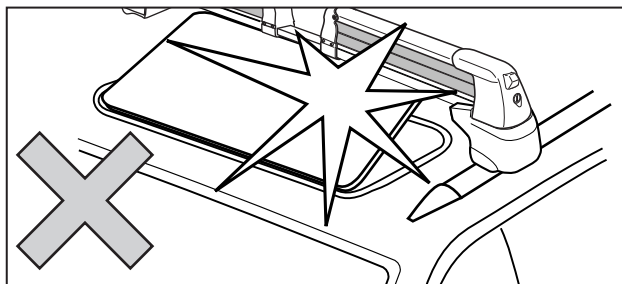
## ケース、保護用ビニール袋の使用禁止

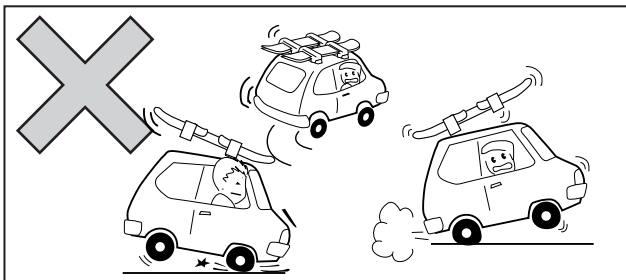
積載時には、スキーケースやスノーボードケース、保護用ビニール袋を使用しないでください。

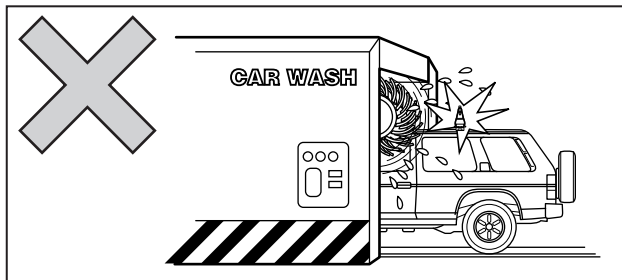
## 走行中はキーを閉める

スキー、ストック、スノーボードを積載する時は、必ずクランプアームを確実に閉じてキーをロックしてください。

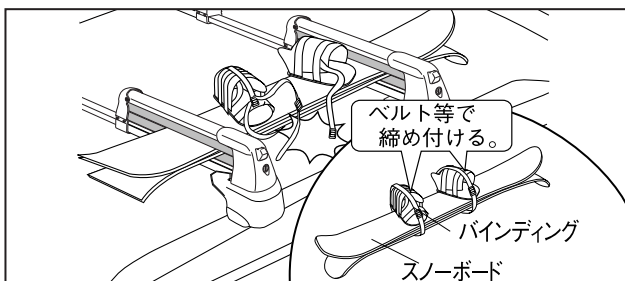
## 改造禁止

キャリアに穴を開けたり、曲げたりする改造をしないでください。

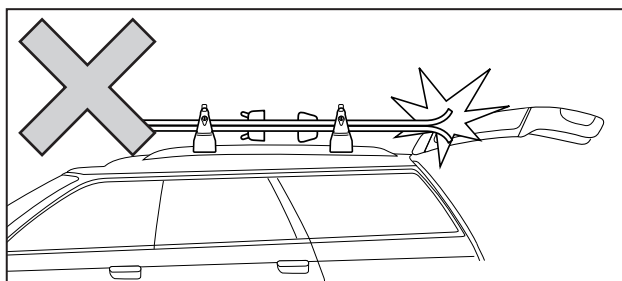
# ⚠注意

注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品･車両･積載物が損傷するおそれがあります。

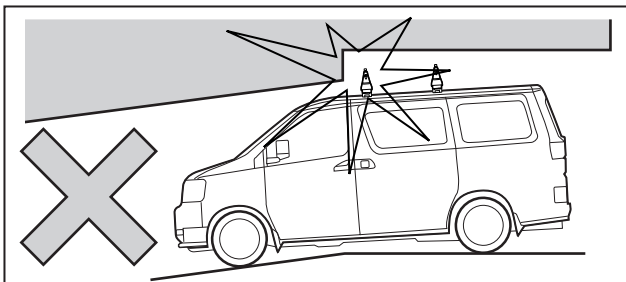
## サンルーフの開閉禁止

キャリアを取付けた状態で、サンルーフを開閉しないでください。

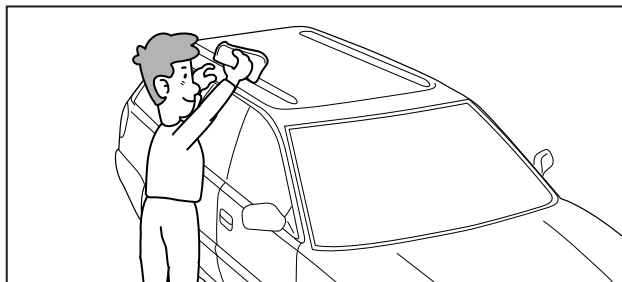
## 急発進、急ハンドル、急ブレーキの禁止

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

## 洗車機の使用禁止

洗車機にかける時は、キャリアを外してください。

## バインディング注意

スノーボードのバインディングやリーシュコードがルーフやルーフレールに当たる場合はベルト等で固定をしてから、積載してください。

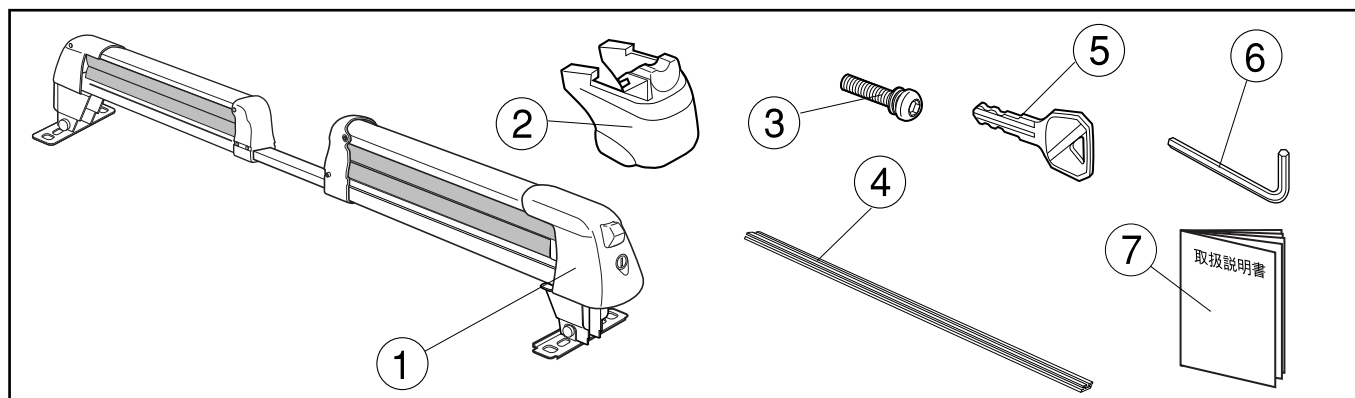
## リアゲート開閉注意

リアゲートやトランクを開ける時は、スキーやスノーボードに当てないように注意してください。

## 車高注意

キャリア装着時は、車高が高くなっておりますので、注意して走行してください。

## 走行後はキャリアを外す

走行後はキャリアを外し、再装着の際にはキャリアのベース部やフックとルーフレールの汚れを落としてください。

# 取付方法

## 部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

| No. | 部品 | 数量 | No. | 部品 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | キャリア本体 | 2 | ⑤ | キー | 2個 |
| ② | カバー | 4個 | ⑥ | 六角レンチ | 1本 |
| ③ | 取付ボルト※ | 8本 | ⑦ | 取扱説明書（本書） | 1部 |
| ④ | フレームモール | 1本 | | | |

※別売フックが必要な場合は使用しません。

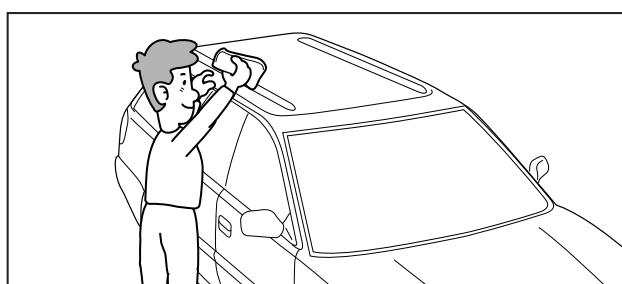
**警告**

本品の取付けには車種により別売の「取付フック」が必要です。店頭のINNO車種別適合表で必ず確認してください。

## 使用工具を準備する

本品の取付けには、次の工具が
必要ですので準備してください。

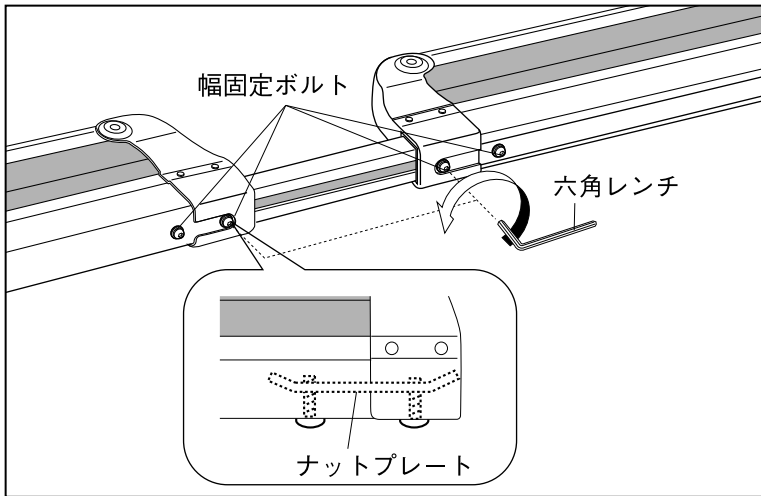
| 使用工具 | 数量 |
|---|---|
| ハサミ | 1個 |
| 鉛筆 | 1本 |
| ビニールテープ | 10〜15cm |
| メジャー（1m迄測定できるもの） | 1個 |

## キャリアの取付準備をする

**1** 車両のルーフの汚れをきれいに落とす。

**参考**

キャリアを取付けると車体とキャリアの接触する部分に多
少の取付跡が付きますのでご了承ください。

# キャリアの幅調整

## 1 ボルトをゆるめる

六角レンチでナットプレートが外れない程度に幅固定ボルトをゆるめる。（目安：約2〜3回転）

## 2 ステーにフック等を取付け、キャリアをルーフに載せる

ステーにフック、プレート、カバー等を取付け、キャリアをルーフ上に載せる

### 車種別取付方法

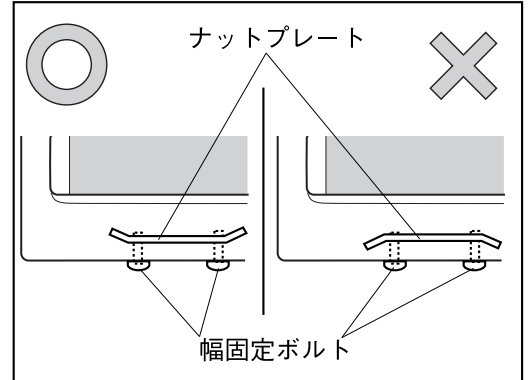
車種（取付フック）により、フック形状や取付方法が異なります。以下の車種別取付方法に従い、本体とフックを組立ててください。



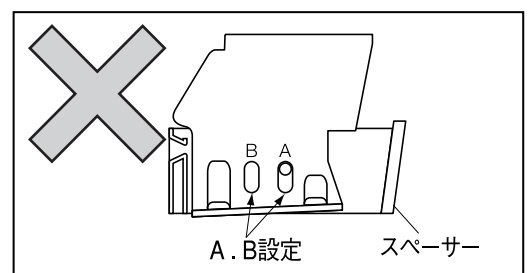
TR108〜…TR取付フックの追加取扱説明書に従ってください。
追加取扱説明書がない場合は、弊社サービスセンター（03-3320-9555）へお問合せください。

**⚠警告**

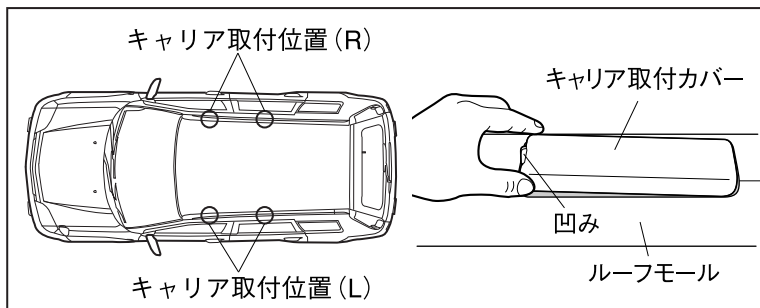
ナットプレートが外れてしまった場合は、向きを間違えないように再度組み付けてください。

**⚠注意**

キャリア本体が抜落ちないように注意して載せてください。

**参考**

- 本品の取付けには、「IN-TR」用の「TR取付フック」を使用し ます。
- 「TR取付フック」の取扱説明書は、「IN-TR」用に書かれているため、本品の取付けとは若干異なります。本書の説明に従い取付フックの組み立てを行ってください。
- 本品とIN-TRでは構造が異なり本品には「スペーサー」はありません。車種によるスペーサーのA.B設定作業は、ありません。

# 車種別取付方法

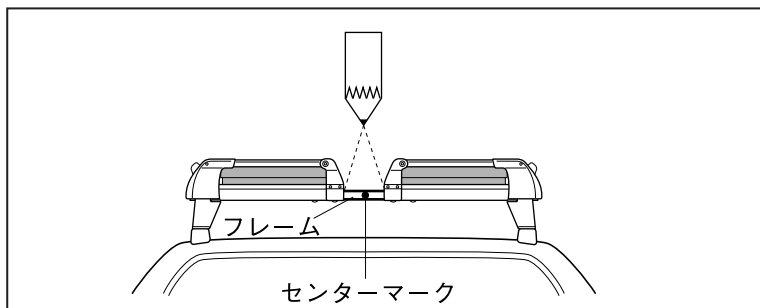
## エクストレイル

## 1 車両の取付位置を確認しカバーを外す

車両の取付位置を確認し、車両のルーフモール部にあるキャリア取付カバーを取外す。

## 2 仮止めする

取付ボルトは内側の穴に通してください。

ステーをフレームモール部に載せ、取付ボルトを内側の穴に通し仮止めする。

## 3 フレームの位置をマークする

フレームのセンターマークが中央になるように調整し、鉛筆でフレームの位置をマークする。

➡ 本書12ページ キャリアの組立て に進み取付けてください。

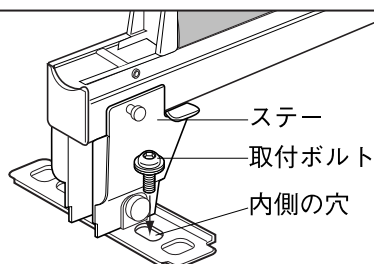
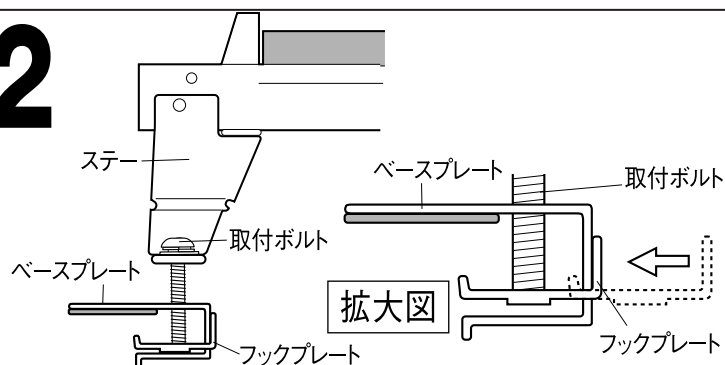
**参考**

本品は車両への取付位置が決まっています。

**参考**

カバーが取外しにくい場合は、カバーの凹みに小さいマイナスドライバーを差込み、カバーのツメを押して取外してください。また、取外したカバーは、キャリアを取外した際に必要です。大切に保管してください。

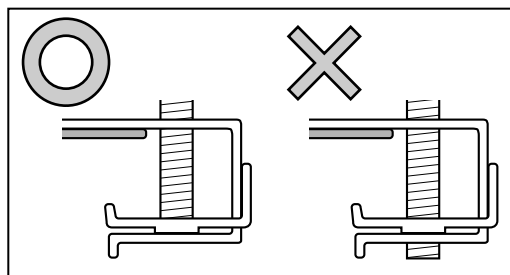
## TR101　ムーヴ、テリオス、テリオスキッド、パイザー、キャミ等

**TR101取扱説明書3ページ4からの作業となります。**

ステーにベースプレートとフックプレートを取付けボルト2本で図のように仮止めする。

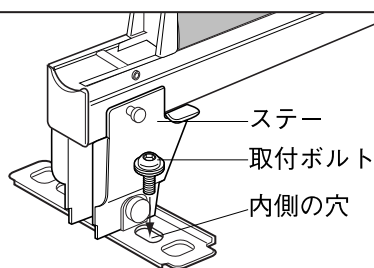
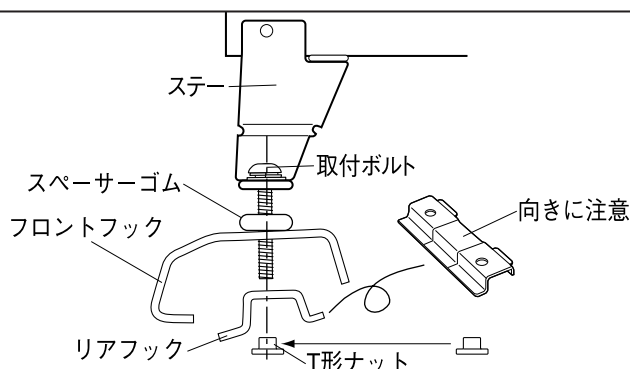
**⚠注意**

本製品付属の取付ボルトは使用しません。

**参考**

フックプレートの仮止めは、フックプレートから取付ボルト先端がでないようにしてください。

➡ **TR101取扱説明書4ページ3まで作業を行い、本書11ページ キャリアの位置決め に進み取付けてください。**

## TR102　フォレスター（H9.2～H14.2）

**TR102取扱説明書3ページ3からの作業となります。**

ステーにスペーサーゴム、フロントフック、リアフック、T型ナットの順にボルト2本で図のように仮止めする。

**⚠注意**

本製品付属の取付ボルトは使用しません。

**⚠注意**

T型ナットの凸部、リアフックの向きを間違えないようにしてください。向きを間違えた状態では取付け出来ません。

**参考**

T型ナットの仮止めは、T型ナットから取付ボルト先端がでないようにしてください。

➡ **TR102取扱説明書4ページ4まで作業を行い、本書11ページ キャリアの位置決め に進み取付けてください。**

## TR103　グランドチェロキー、チェロキー・ルーフレール付等

**TR103取扱説明書3ページ4からの作業となります。**

**注意**

本製品付属の取付ボルトは使用しません。

**参考**

フックプレートの仮止めは、フックプレートから取付ボルト先端がでないようにしてください。

**TR101取扱説明書5ページ4まで作業を行い、**
**本書11ページ キャリアの位置決め に進み取付けてください。**

## TR104　レガシィツーリングワゴン（H10.6～H15.5）、フォレスター等

**TR104取扱説明書3ページ3からの作業となります。**

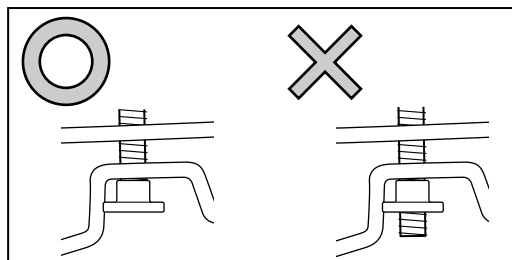
**注意**

本製品付属の取付ボルトは使用しません。

**注意**

T型ナットの凸部、リアフックの向きを間違えないようにしてください。向きを間違えた状態では取付け出来ません。

**参考**

T型ナットの仮止めは、T型ナットから取付ボルト先端がでないようにしてください。

**TR104取扱説明書4ページ4まで作業を行い、**
**本書11ページ キャリアの位置決め に進み取付けてください。**

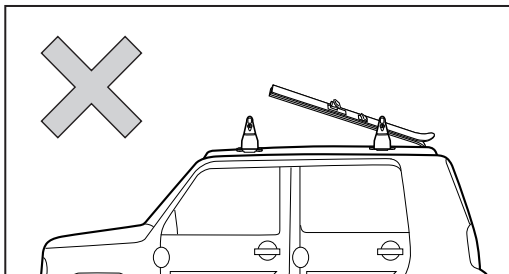
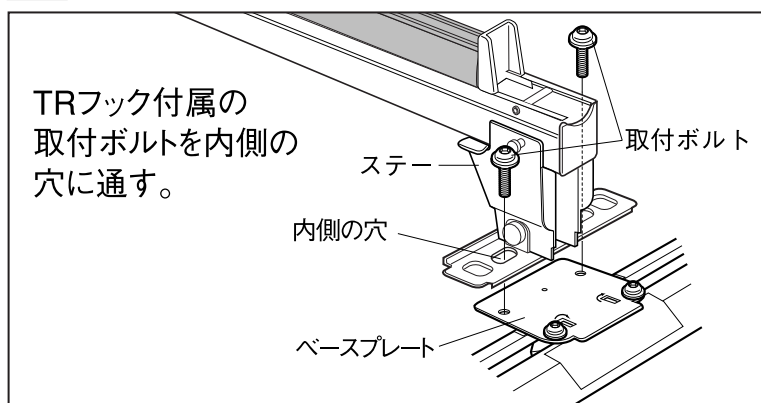
# TR105　ネイキッド

**TR105取扱説明書3ページ1からの作業となります。**

## 1 ベースプレートを取付ける

本書11ページ1、2に従い、キャリア取付位置を決め、純正レールにベースプレートを取付ける。

**⚠警告**

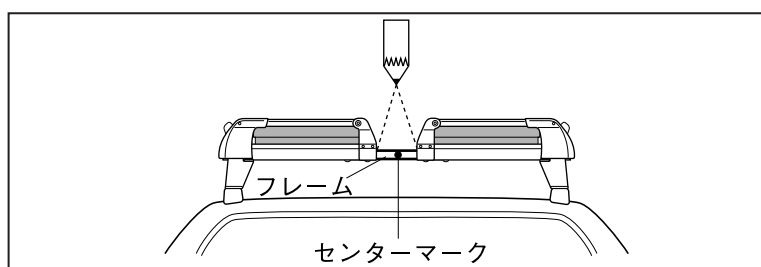
キャリアの前後間隔は、必ず50cm〜100cmの範囲内でスキー、スノーボードが抜け落ちない位置に取付けしてください。（P18参照）

## 2 仮止めする

ステーをベースプレートの上に載せ、取付ボルトを内側の穴に通し仮止めする。

**⚠注意**

本製品付属の取付ボルトは使用しません。

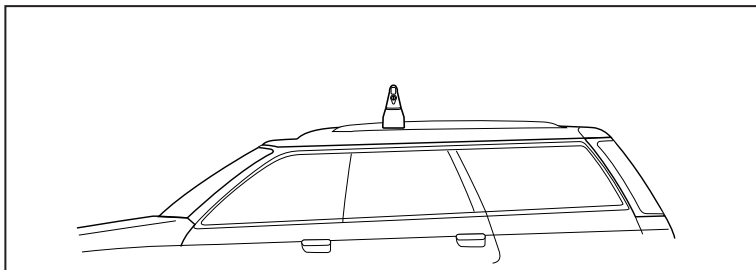
**参考**

本製品は、「低設定」でのお取付けをお勧めします。
積載物がルーフに当たる場合は「高設定」でお取付けください。

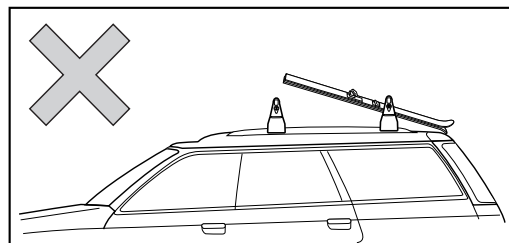
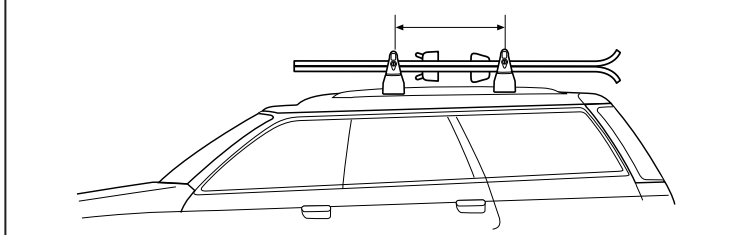
## 3 フレームの位置をマークする

フレームのセンターマークが中央になるように調整し、鉛筆でフレームの位置をマークする。

➡ **本書12ページ キャリアの組立て に進み取付けてください。**

# キャリアの位置決め

## 1 前側キャリアの位置を決める

前側キャリアをルーフに載せ、位置を決める。

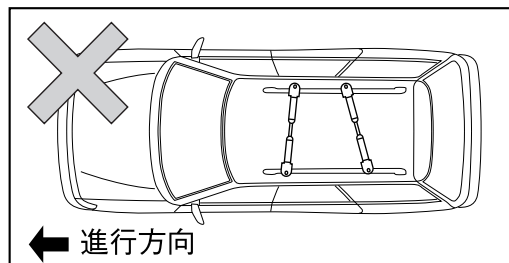
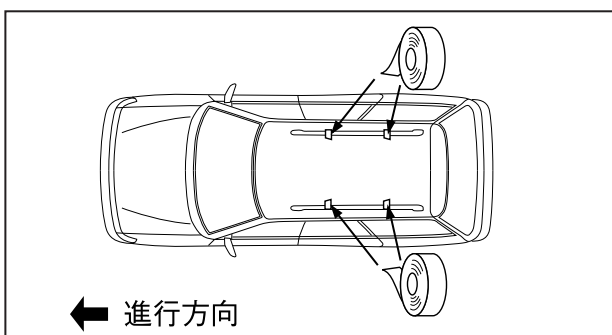
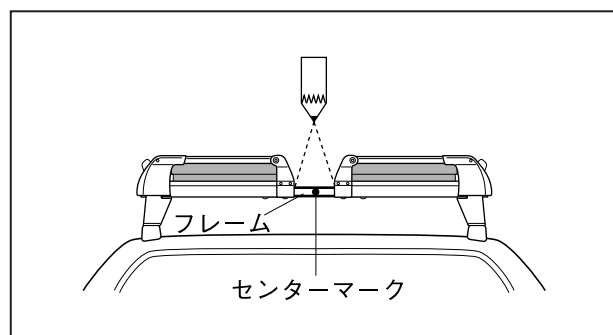
**参考**

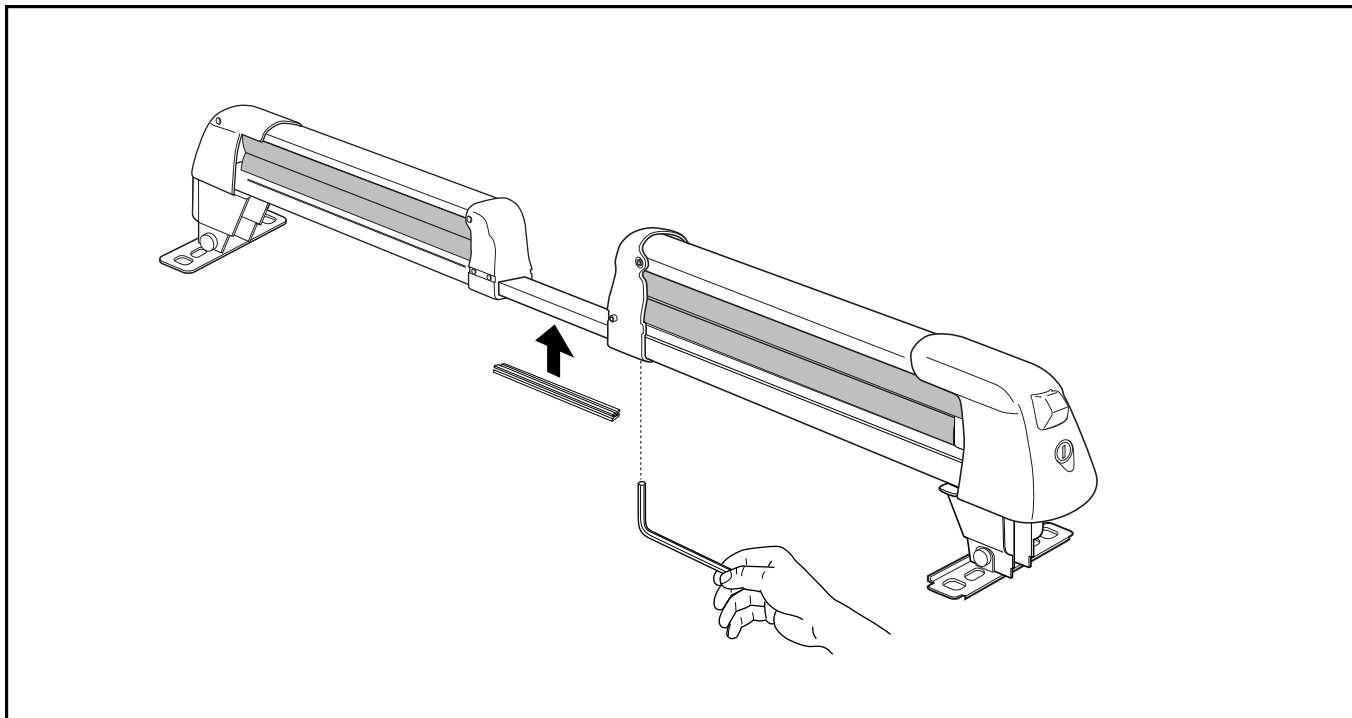
前側キャリアは、なるべく前に取り付けると積載しやすさ、リアゲートとの干渉で有利です。

## 2 後側キャリアの位置を決める

後部キャリアを前部キャリアから50cm～100cmの範囲内で、スキー、スノーボードが抜け落ちない位置でルーフの上に載せる。P18を参考にして位置を決めてください。

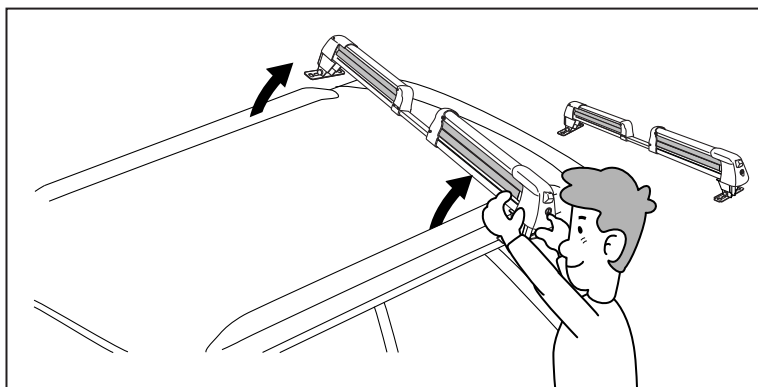
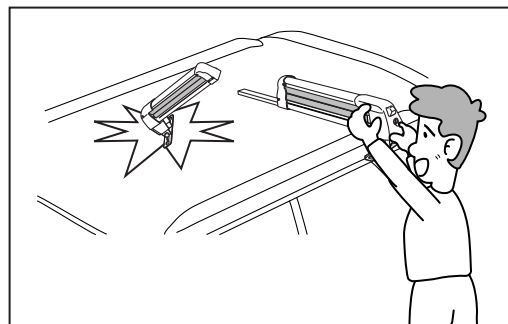
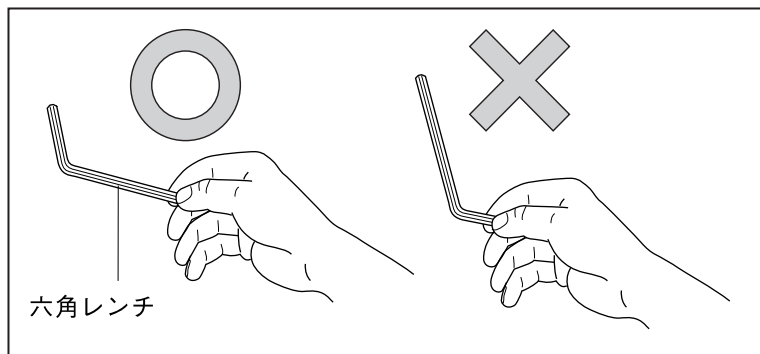
**⚠警告**

キャリアの前後間隔は、必ず50cm～100cmの範囲内でスキー、スノーボードが抜け落ちない位置に取付けしてください。（P18参照）

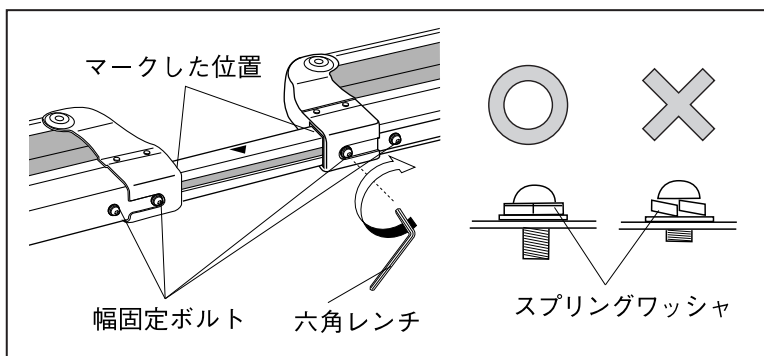
**⚠警告**

キャリアは、必ず車両の進行方向に対して直角に取付けてください。

## 3 取付位置をマークする

ビニールテープでキャリアのベース部が載る位置を左右のルーフの同じ位置にマークする。

フレームのセンターマークが中央になるように調整し、鉛筆でフレームの位置をマークする。

# キャリアの組立て（本組み）

## 1 キャリアをルーフから降ろす

**⚠注意**

キャリア本体が抜落ちないように注意して降ろしてください。

## 2 六角レンチの長い側を持つ

**⚠注意**

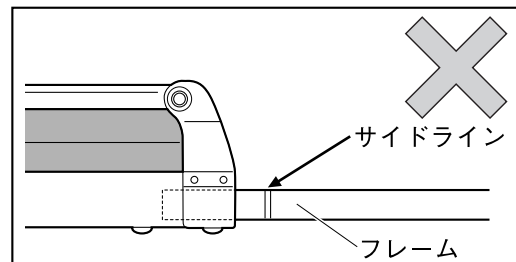
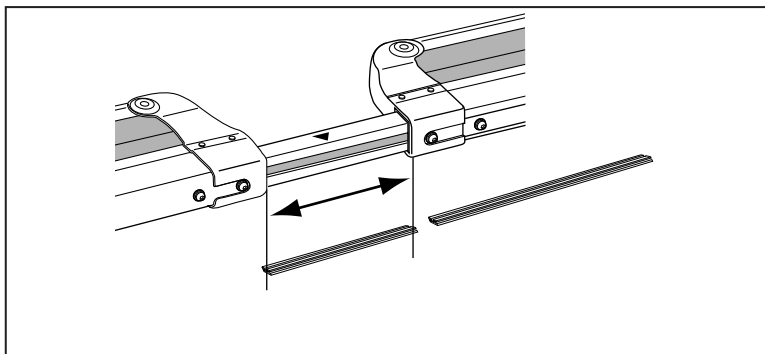
付属の六角レンチ以外の工具は使用しないでください。

## 3 幅固定ボルトを締める

フレームにマークした位置に合わせ、六角レンチで4ヶ所の幅固定ボルトをスプリングワッシャが平らになるまで締め込む。その上で、さらに固くなるまで締め込む。

**⚠警告**

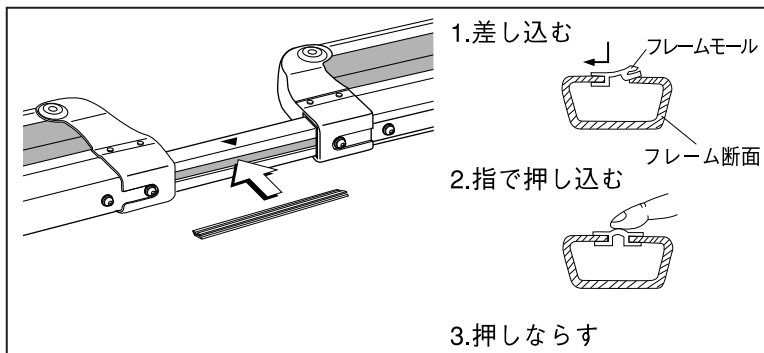
前後で計8ヶ所の幅固定ボルトにユルミがないように確実に締めてください。

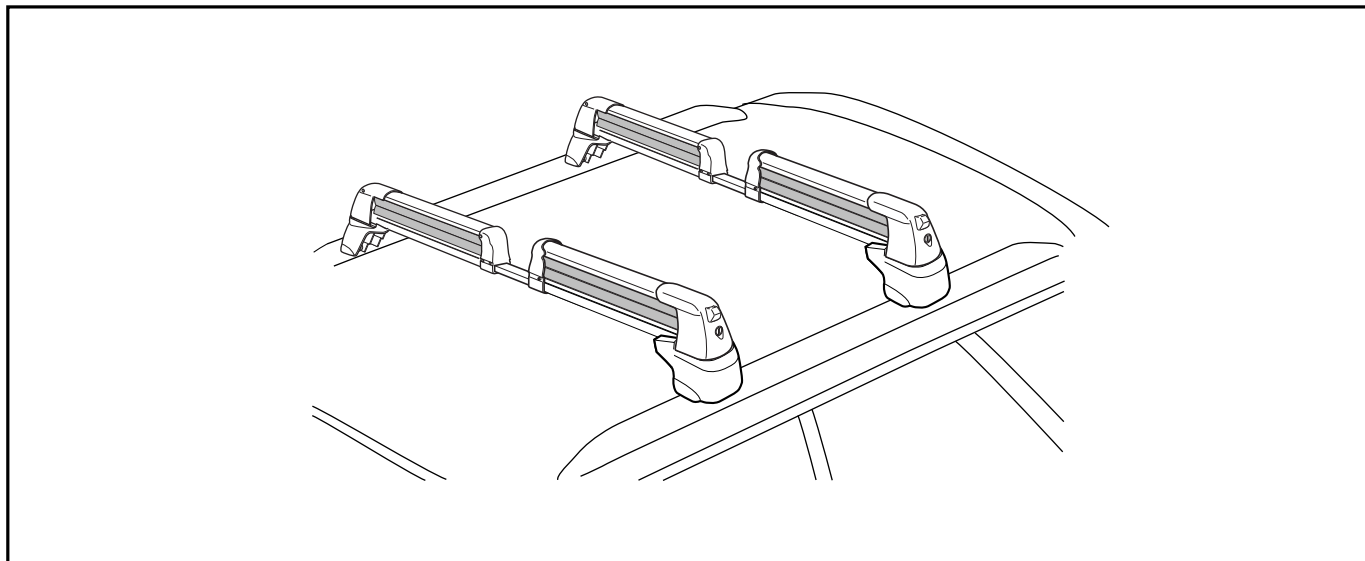
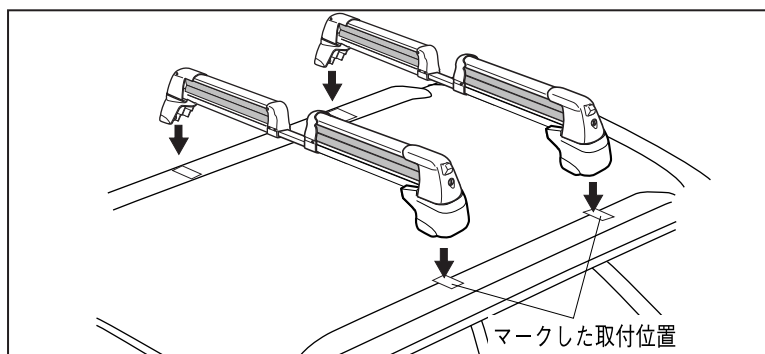
**⚠警告**

フレームの左右には、端から約8cmの位置にサイドラインが入っています。幅調整の終了後、サイドラインが見えないことを確認してください。

## 4 フレームモールをカットする

フレーム裏側のミゾの長さに合わせてフレームモールを切る。

**参考**

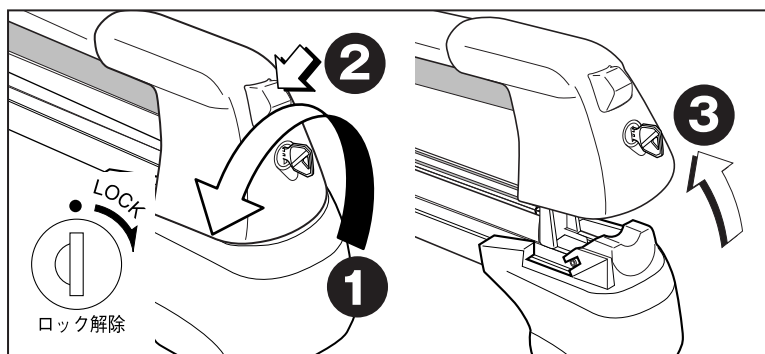
フレームモールは前後のキャリアとも取付けてください。
フレーム裏側のミゾを全てふさがないとフレーム裏側のミゾから風切り音が生じます。必ず、隙間がないようにフレームモールでふさいでください。

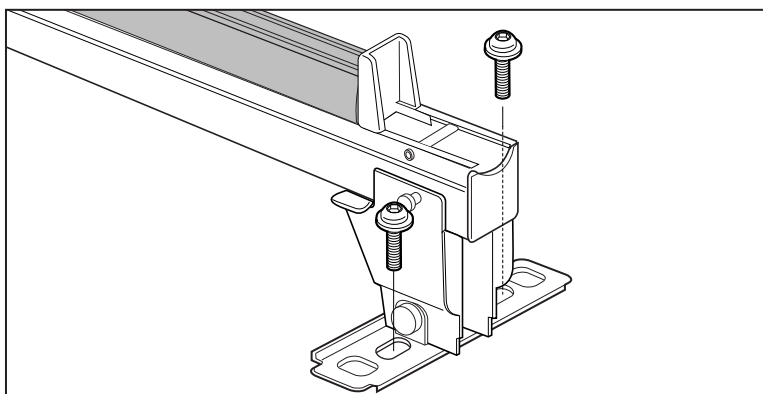
## 5 フレームモールを取付ける

フレームモールをフレームに差込む。

# キャリアを車両に固定する

## 1 キャリアを取付位置に載せる

キャリアを車両のルーフに載せ、マークした取付位置に合わせる。

☜参考

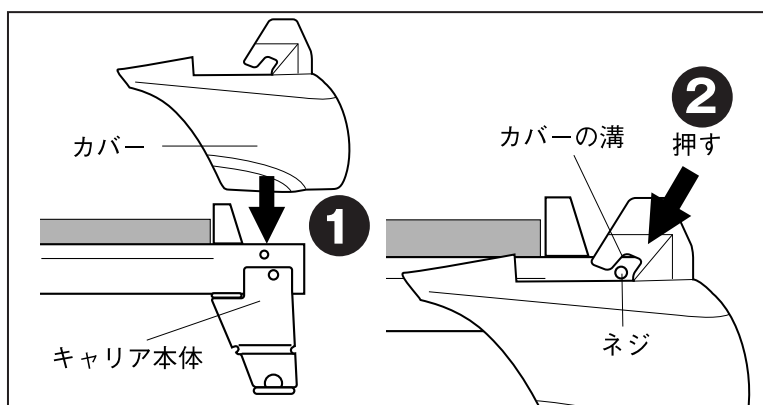
ビニールテープは位置決め終了後はがしてください。そのまま放置するとノリが車両側に残り、汚れます。

## 2 クランプアームを開ける

① キー を"反時計回り"に回しロックを解除する。
② ボタンを押す。
③ クランプアームを開ける。

# 3 キャリアを車両に固定する

TR取付フック取扱説明書の取付方法に従いキャリアを取付ける。

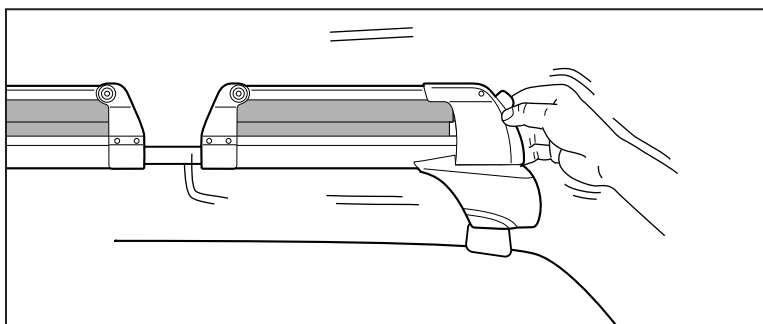
**参考**

フック形状や取付方法は、車種(取付フック)により異なります。

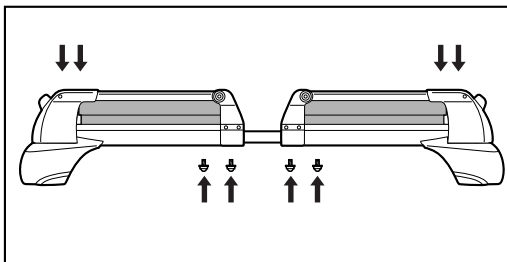
# 4 カバーを取付ける

① カバーを上側から落とし込む。
② キャリア本体のネジにカバー溝を合わせ取付ける。

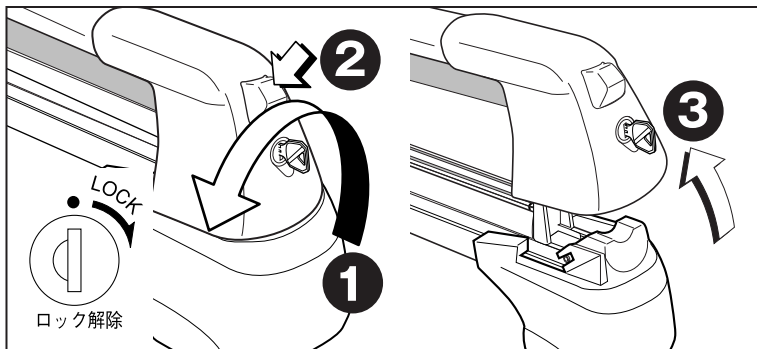
**⚠警告**

キャリア車両装着時は必ずカバーを取付けてください。

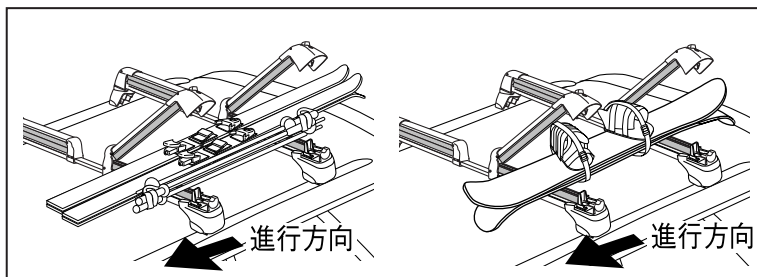
# 5 キャリア取付後の確認

前後キャリアを前後・左右・上下にゆすり、ビスやボルトのユルミによるガタツキがないか確認する。

**⚠警告**

走行前に、必ず積載物を載せて前後キャリア合わせて16カ所のビスやボルトにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

# 使用方法

## 1 ロックを解除し、クランプアームを開ける

① キーを"反時計回り"に回しロックを解除する。
② ボタンを押す。
③ クランプアームを開ける。

## 2 スキーまたはスノーボードが積載可能であることを確認する。P18参照

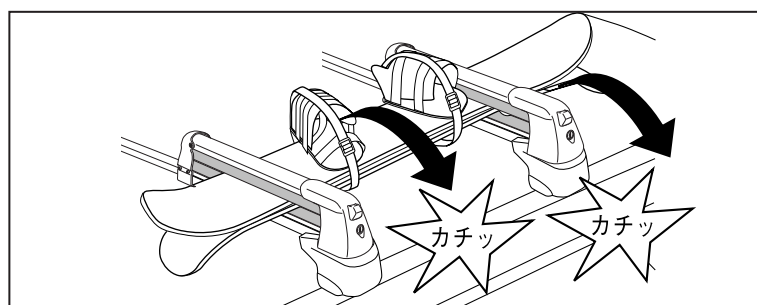
## 3 スキー・スノーボード・ストックを積載する

スキー・スノーボード・ストックの積載方法に従い積載する。
P19～21参照

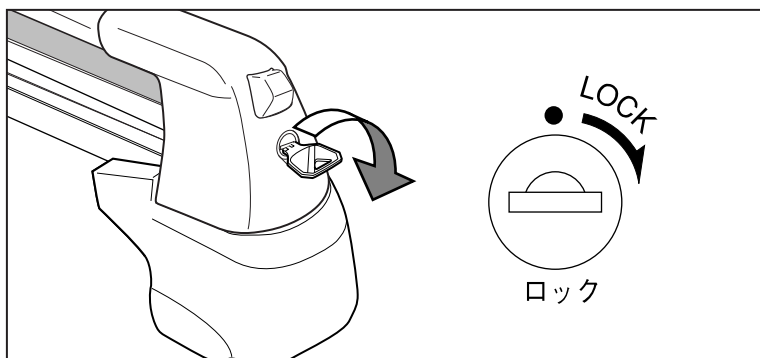
**⚠警告**

スキー・スノーボード・ストックが積載可能であることを確認し、積載不可のスキー・スノーボード・ストックは積載しないでください。

**⚠警告**

積載条件以外でスキー・スノーボード・ストックを積載すると、キャリアや積載物が脱落するおそれがあります。

## 4 クランプアームを閉じる

クランプアームを「カチッ」と音がするまで閉じる。

# 5 キーをロックする

キーを"時計回り"に回しロックしキーを抜く。

**⚠警告**

走行する時は、安全上のため必ずクランプアームを4ヶ所全て確実に閉じてキーをロックしてください。

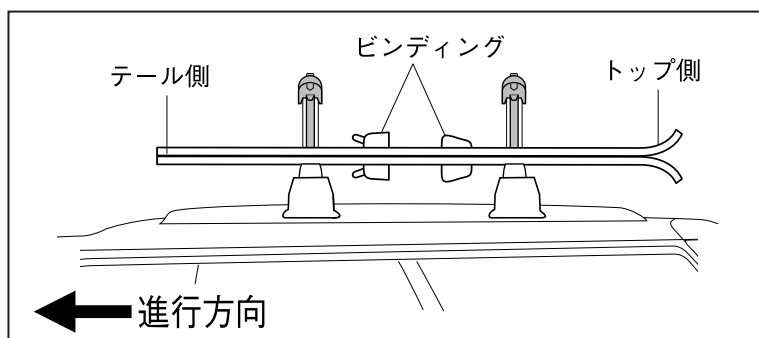
# 6 走行前点検を行う

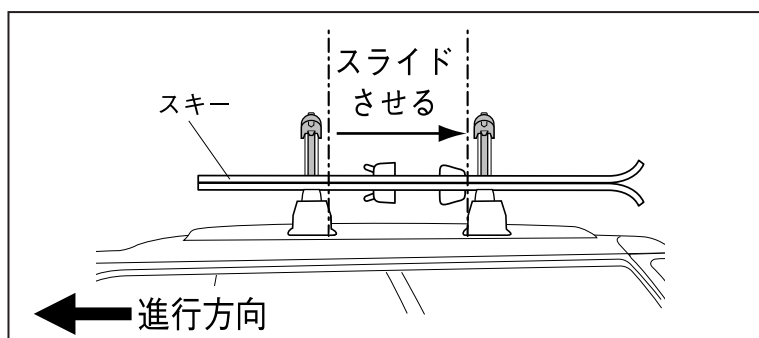
走行前に前後キャリア合わせて16カ所のビスやボルト、および4ヶ所のフックにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は増し締めする。

**参考**

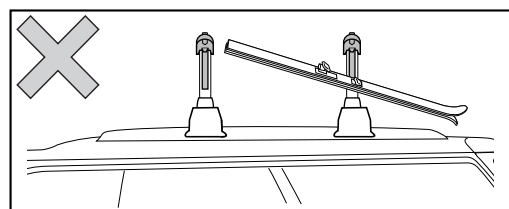
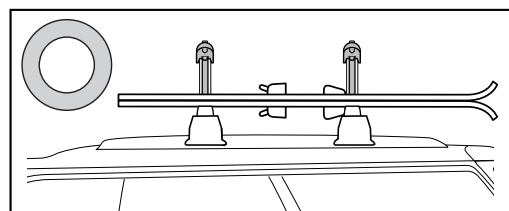
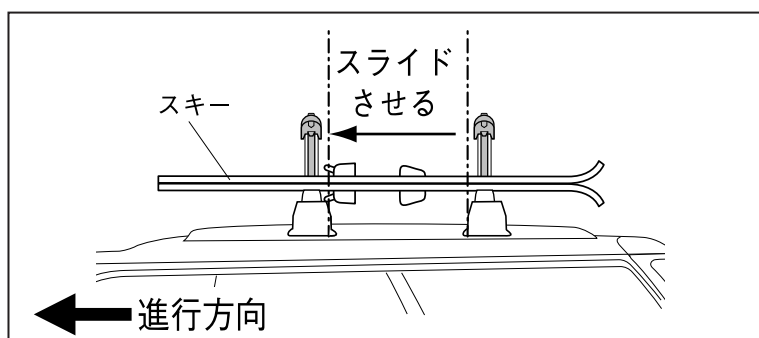
積載物をおろす時は、手でクランプアームを下に押しながらボタンを押すと、簡単にクランプアームが開きます。

# 積載可能なスキー・スノーボードの確認手順

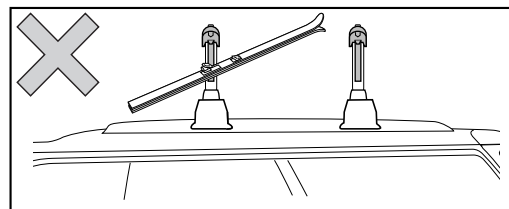
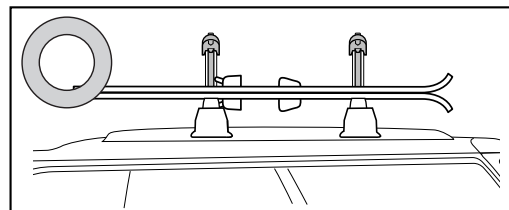
## 1 スキーまたはスノーボードを載せる

クランプアームを開けた状態で、スキーまたはスノーボードのテールを進行方向に向けてキャリアに載せる。

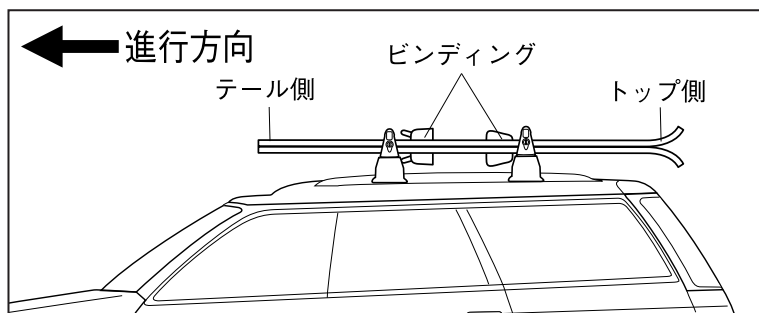
## 2 後部にスライドさせる

後部キャリアにビンディングが当たるまでスキーまたはスノーボードをスライドさせる。

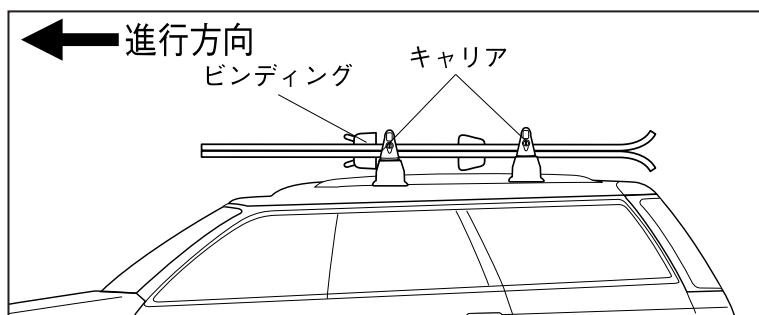
**⚠警告**

前部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。

## 3 前部にスライドさせる

上記確認で外れない場合でも、必ず続けて前部キャリアにビンディングが当たるまでスキーまたはスノー ボードをスライドさせる。

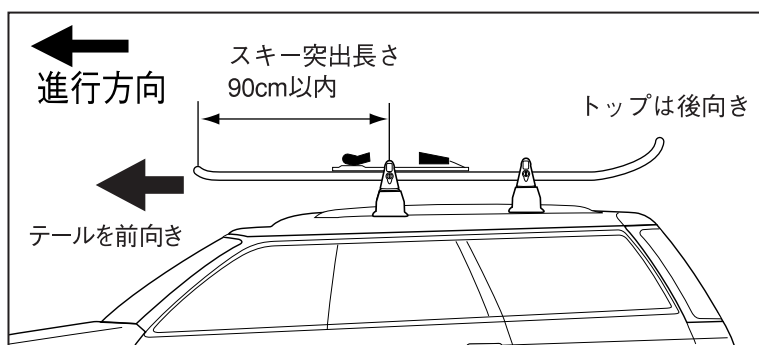
**⚠警告**

後部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。

# スキーの積載方法

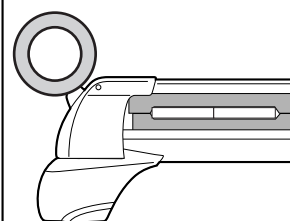
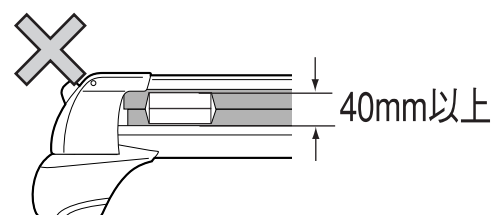
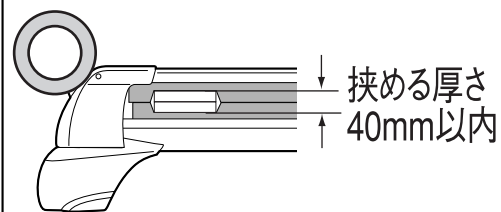
## 理想的な積載方法

① スキーは2枚合わせた状態で積載する。
② テールを車両の進行方向に向け積載する。
③ ビンディングは、前後キャリア間に入れる。

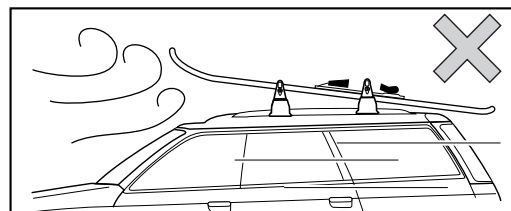
## ビンディングが前後キャリア間に入らない場合

ビンディングが間に入らない場合は、かかと側のビンディングを、前側キャリアの前方に出して積載する。

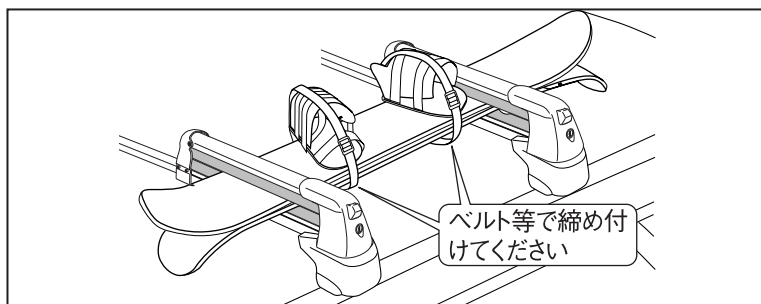
## 合わせた状態でキャリアにはさめない場合

スキーを合わせた状態でキャリアにはさめず、スキー板をバラして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

① スキーはテールを進行方向に向けて積載する。
② ビンディングが間に入らない場合は、前にずらす。
③ 前側キャリアから突出する長さは90cm以内にする。
④ 積載する板の厚みの差は10mm以内とする。

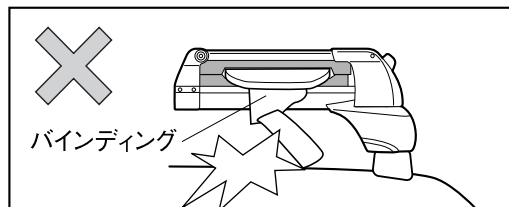
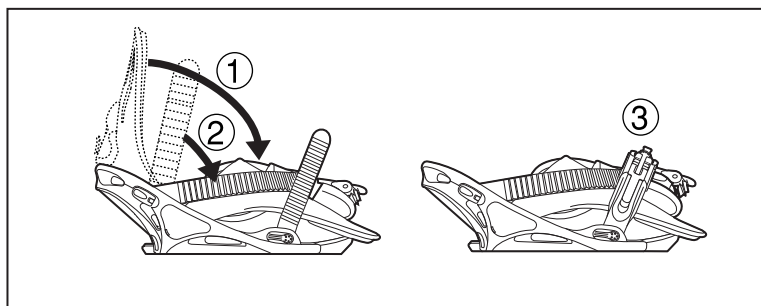
**注意**

スキーに一体型ビンディングやプレートが付いていて、合わせた状態でキャリアに挟めない場合は、スキーを合わせずに、バラして積載してください。

**警告**

左記条件以外でスキーをバラして積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込む重大な事故を起こすおそれがあります。

# スノーボードの積載方法

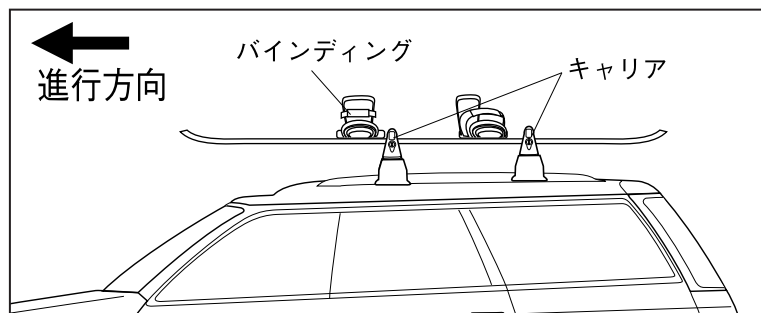
## 理想的な積載方法

① バインディングがルーフに当たらないようにたたむ。
② バインディングは、前後キャリア間に入れる。

**⚠注意**

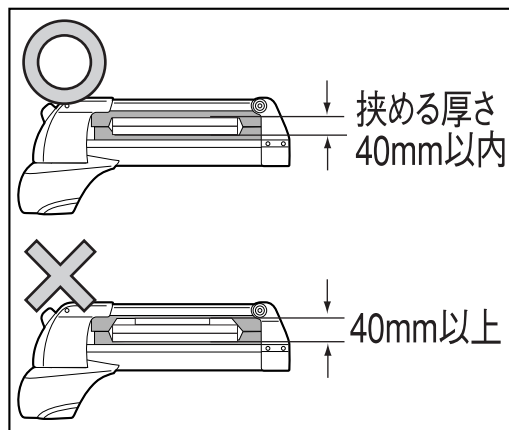
バインディングを下向きにして積載する場合は、バインディングがルーフに当らないように固定して積載すること。バインディングがルーフに当たる場合は、積載を中止するか、バインディングを上向きにして積載する。

## バインディングのたたみ方

① ハイバックを倒す。
② アンクルストラップをハイバックの上に重ねる。
③ トゥーストラップを締めて固定する。

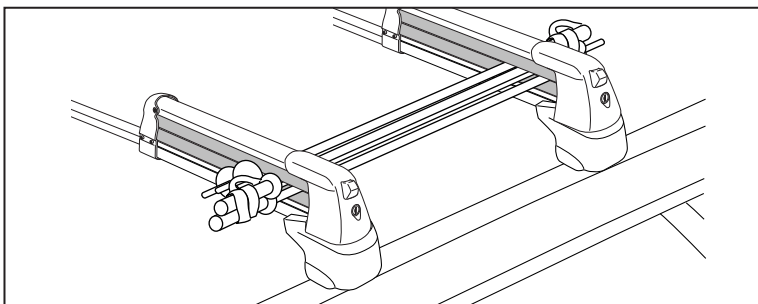
**参考**

バインディングの種類によっては左図のようにたためない場合があります。その場合は、バインディングがルーフに当たらないようにベルトなどで固定して積載してください。

## バインディングが前後キャリア間に入らない場合

バインディングが前後キャリア間に入らない場合は、片方のバインディングを、前側キャリアの前方に出して積載する。

**⚠注意**

デッキパッド等により、合わせた状態でキャリアにはさめない場合は、合わせずに1台で積載してください。

## ストックの積載方法

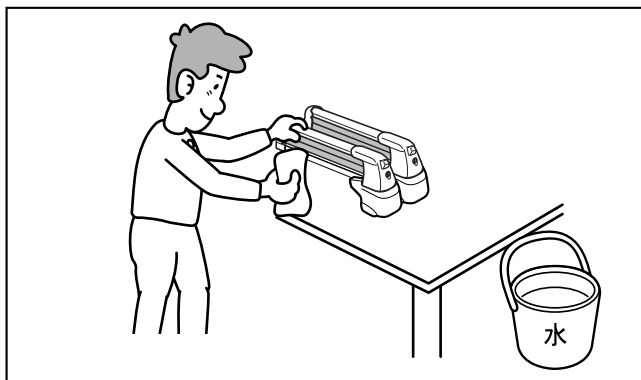
### 積載方法

① ストックはグリップとリングを必ず、前後キャリアの外側にして積載する。
② ストックのベルトがルーフに当たらないようにグリップなどにからめて固定してから積載する。

**⚠警告**

グリップとリングがキャリアの外側に出ないストックは積載しないでください。
リングのとれたストックは積載しないでください。
リングのとれたストックは脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

# キャリアを取外す

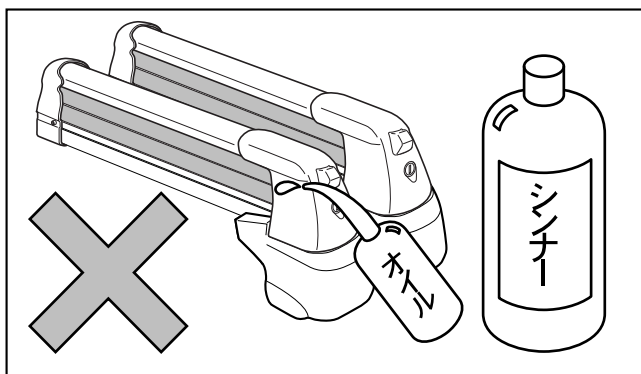
**1** P14〜15の「キャリアを車両に固定する」と逆の手順でフック、ステーを車両から外し、キャリアを取外す

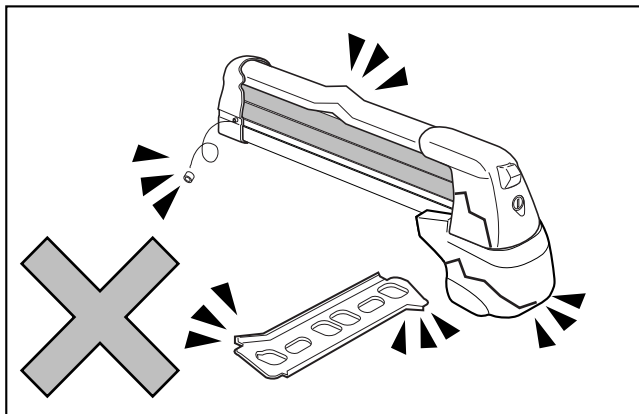
# 日常のお手入れ

**1** 水で汚れを落とす。

**2** 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

**3** 日陰でよく乾燥させる。

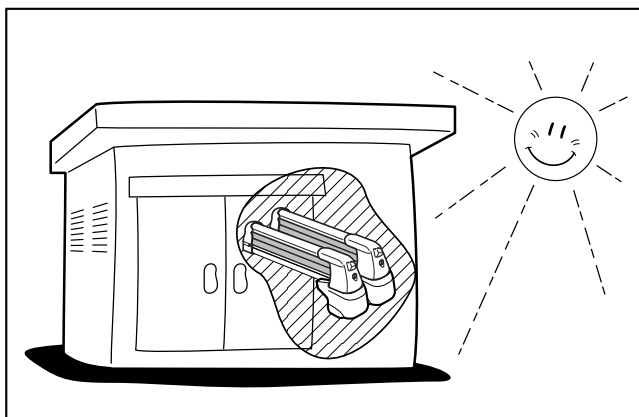
**参考**

●シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
●ビスやボルトへの給油はしないでください。

# 保管方法

## 各部の点検をする

**1** キャリアを清掃し、下記の点検をする。

**点検方法**

1) フックに変形がないか点検する。もし、変形していれば交換する。
2) ラバークッションに亀裂、損傷がないか点検する。もし亀裂、損傷があれば交換する。
3) クランプアームやボタン、リベット、ピン等に損傷、破断があれば使用を中止する。

## キャリアを保管する

**1** 直射日光の当たらない乾燥した屋内に、キャリアを保管する。

⚠警告

- キー、フック等の小物部品は、まとめてビニール袋にいれてキャリアといっしょに保管すると便利です。
- キャリアを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや歪みなどを防ぐために、車両から外して保管してください。

# 純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、キャリアを購入された販売店にパーツNo.またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。
●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。